



琢磨

主造律  
自創規

# 朝日中通心

生徒数 (令和元. 7. 1現在) 総数 312 名  
1年 113 名 2年 94 名 3年 105 名

令和元年 10月 30日

自分の生き方を求め 今を大切に  
朝日中生を育成する

奄美市名瀬朝日 29番地 1  
TEL 52-1195 FAX 53-5650

HP: <http://www.city.amami.kagoshima.jp/asahi-j/>

## あいさつは心のキャッチボール

校長 今村 典盟

本校の生徒は、いろいろな活動に生徒ひとりひとりが真剣に取り組んでいます。そして、部活動や各種コンクール出品、弁論、英語暗唱など多くの実績を挙げています。生徒たちの頑張りと努力には目を見張るものがあります。

しかし一方、「自分から大きな声で」を心がけたあいさつをしようと全校朝会等で話をしてきましたが、以前よりは良くなったもののまだまだではないでしょうか。部活動ではできるだけに何故なのでしょう。

そこで、もう一度あいさつの大切さについて考えてみましょう。例えば、あいさつをボールにたとえてみるとどうでしょうか。学校に登校してきたときに「おはよう」とあいさつのボールを投げる、そして相手からも「おはよう」とボールが返ってくる。そうすると、とても心地よい一日が始まるような気持ちになりませんか？

つまり、ひとつのあいさつが、相手や周りの人々を明るくすることができるのです。またちよつとしたあいさつから元気をもらったりすることもできます。

私もいろいろな学校を訪問します。生徒の皆さんが「こんにちは」と大きな声であいさつをしてくれる学校やあいさつのキャッチボールができる学校は、学校全体が活気にあふれ、明るい雰囲気になっています。そんな活気や明るい雰囲気をくりだすためにみなで力を合わせて『あいさつのあふれる』朝日中学校にしていきましょう。生徒同士、先生や保護者、地域の方々にも「あいさつ」という心のボールを毎日の生活の中で投げ続けて、明るく元気な朝日中学校にしていきたいでしょう。

十一月一日(金)は、学習発表会です。たくさんの方の保護者や地域の方の参観をお待ちしております。その際は、生徒のあいさつについて御意見を聞かせてもらおうアンケートも準備しておりますので、お話を聞かせてください。

## 赤ちゃんから大切なこと学びました

十月七日(月)に、一年生を対象に赤ちゃん先生による授業が行われました。赤ちゃんとママが訪問し、学び・癒し・感動を共有し、人として一番大切なことを感じてもらうプロジェクトです。赤ちゃんの表情を読み取ったり、ふれあったりすることで、自然と子ども達の顔も感情あふれる顔になっていました。赤ちゃんからコミュニケーションの大切さを学んだ時間となりました。



## 多彩なテーマで思いを伝える

十月十二日(土)に学級弁論大会が行われました。今年度から国語科の週末課題で「南風録」の書写や自分の考えを書かせている取組を実施しているため、テーマが豊富でバリエーションが増えています。自分の主張を堂々と伝える様子が見られ、お互いに考えを深める機会となりました。また多くの保護者の参観もありました。ありがとうございました。来年はさらに多くの方の参観をお願いします。



## 世界に一つだけのジュエルアート

十月二十五日(金)に家庭教育学級で、自然の家の職員を招聘して、ジュエルアートの制作を行いました。家族一緒に制作になり、親子で楽しく、世界にひとつだけの作品をつくりました。作品につきましては、学習発表会で展示します。芸術の秋です。十一月一日(金)は、学習発表会です。生徒の作品も展示いたしますので、多くの方の御来校をお待ちしております。



11月1日(金)から県民週間が始まります。授業参観や生徒への声かけをお願いします。

「地域がはぐくむ『かごしまの教育』県民週間」  
～地域に根ざしたふるさと教育～  
**来て！観て！感じて！私たちの学校！！**



奄美市立朝日中学校 11月1日～11月7日

## 令和元年度全国学力・学習状況調査結果について（3年生を対象に4月に実施）

### 1 本校の教科に関する結果概要 平均正答率

	令和元年度				
	全国平均 正答率	県平均 正答率	本校平均 正答率	全国平均 との差	県平均と の差
国語	72.8	70.0	66.0	-6.8	-4
数学	59.8	57.0	50.0	-9.8	-7
英語	56.0	53.0	45.0	-11.0	-8

### 2 質問紙調査の結果について

#### (1) 生活習慣

##### ア 朝食を食べていますか。

	本校	県	全国
① 食べている	83.5	84.5	82.3
② どちらかといえば食べている	9.9	10.2	10.8
③ あまり食べていない	6.6	3.9	4.9
④ 全く食べていない	0	1.3	2.0

##### イ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

	本校	県	全国
① している	34.1	34.6	33.6
② どちらかといえばしている	41.8	46.5	44.4
③ あまりしていない	20.9	15.9	17.8
④ 全くしていない	3.3	2.9	4.2

##### ウ 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。

	本校	県	全国
① している。	53.8	58.2	57.0
② どちらかといえばしている	41.8	35.9	35.8
③ あまりしていない	3.3	4.9	6.0
④ 全くしていない	1.1	0.9	1.2

### 【結果概要についての分析】

国語、数学、英語の国語の県平均（-4）以外、県平均、全国平均を5ポイント以上大幅に下回った。正答数分布から、国語においては、県、全国と同じような分布が見られ、全体的な底上げが必要である。数学、英語については、県、全国と比較すると正答数が低い生徒の割合が高い。特に英語については、正答数分布が左寄りであり、基礎的・基本的な力をつけていく必要がある。

解答時間についての質問で、国語については、おおまか時間内に終わっている状況がみられるが、数学は、15.5%、英語については、34.1%の生徒が「解答時間が少なかった」とする結果がでている。問題の解き方やスピードについて今後改善を図っていく必要があると考えられる。

大学入試、高校入試の出題傾向や、社会から求められる学力が変化しており、授業改善はもちろんだが、確実な学力の定着を図るために、家庭学習を定着させ、多くの良問に挑戦するチャンスを作っていく必要がある。特に、文章や図、グラフなどをみて、自分自身の考えをまとめ、表現（記述）する力を高める必要がある。

### 【生活習慣分析】

就寝時間が安定していない生徒の割合が高く、朝食を「あまり食べていない」と解答する生徒の割合が高い。遅くまで起きて、食べる時間がないことや食欲がないことが予想され、熱中症や体調不良の原因となっていると考えられる。就寝時刻が遅くなる原因がなんであるのか？ SNSなのか、家庭学習（部活動）なのか判断し、改善を図る必要がある。

特に、SNSの利用については、基本的には家庭の躰の部分であることを十分理解させるため、保護者への啓発を具体的に推進していく必要があるとともに、幼少期から保護者が本気で取り組まないといけないことを周知していきたい。

#### (2) 自己意識

##### ア 自分にはよいところがあると思いますか。

	本校	県	全国
① そう思う	25.3	24.5	29.0
② どちらかといえばそう思う	46.2	47.7	45.1
③ あまりそう思わない	23.1	20.7	18.6
④ そう思わない	5.5	7.0	7.3

##### イ 将来の夢や目標を持っていますか。

	本校	県	全国
① もっている	51.6	48.4	44.9
② どちらかといえばもっている	16.5	24.2	25.6
③ あまりもっていない	22.0	17.7	17.9
④ もっていない	9.9	9.6	11.5

自己肯定感については、発達段階における影響がみられると思うが、よいところがないと思う生徒の割合が高い。設営や生活の記録に称賛の機会を更に増やしていきたい。

将来の夢や目標がはっきりとしない生徒の割合が高い。進路学習については、保護者へも広報し、できるだけ保護者も一緒に学習することで、家庭での話題づくりに努めていきたい。また、校外での体験学習や新聞を効果的に活用することで、職業に関する興味を高めていきたい。

### 11月行事

1日（金） 学習発表会  
2日（土）～4（月） 大規模電気工事のため閉校  
5日（火） 3年実力テスト、3年進路説明会・PTA  
8日（金） 1年環境ボランティア、3年健康教室  
9日（土） 子ども人権プロジェクト

11日（月） 2年修学旅行出発  
15日（金） 2年休養措置  
19日（火）～3年三者面談、1、2年教育相談  
22日（金）～ 期末テスト前部活動休止  
29日（金） 学校保健委員会、学年、学級PTA  
30日（土） 国際交流派遣事業報告会

### 11月の言葉

自分の力は自分にしか出せない

「できる」と言った時点で自分の可能性が一步広がる